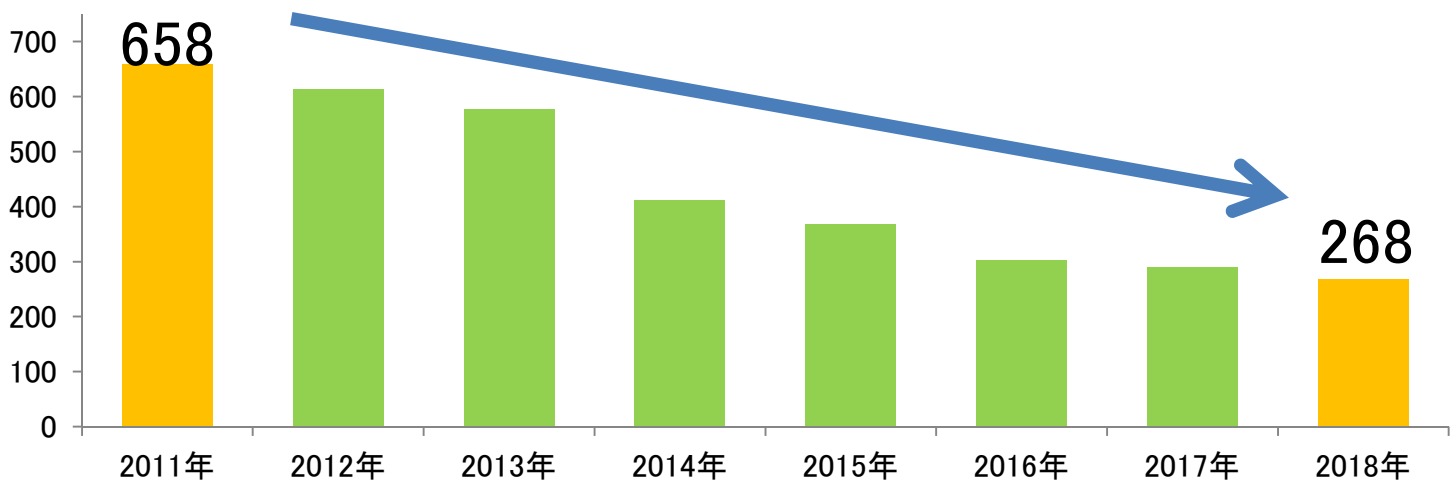


セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、体系だった方法によって、地域社会全体が協働で安全安心に取り組んでいるコミュニティのことで、亀岡市は国内で初めてSCの認証を取得しました。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺対策、高齢者の安全対策、交通安全対策、防犯、スポーツの安全対策、乳幼児の安全対策の6つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全・安心なまちづくりを進めています。

交通事故の負傷者は7年間で約60%減少しています



上のグラフは、亀岡警察署管内における**交通事故による負傷者**の推移を示したものです。ご覧のとおり、負傷者は年々減少しており、昨年は268人となっています。

交通事故の原因の大半は基本的な**安全運転義務違反によるもの**です。

そこで皆さんも「セーフティドライブプロジェクト」にご協力をお願いします。

これは、法定速度や交通ルールを守って安全運転をする方がマグネットステッカーを車に貼って走行することで、交通安全の緩やかなネットワークを広げる取組です。



こちらのQRコードを読み取るか
市役所6階自治防災課にお問い合わせください。
(連絡先は裏面下に記載)

乳幼児の安全対策委員会と京都女子大学が協働で 啓発ポスター・パンフレットを作成しました

乳幼児（0～4歳）は、住宅内でケガをすることが多く、受傷原因は①転落 ②転倒 ③誤飲・誤嚥 ④物との接触 の順に多くなっています。

このため、乳幼児の安全対策委員会は京都女子大学の学生と協働で事故予防のためのポスター・パンフレット（第2弾）を作成しました。今後、市保健センターの4ヵ月検診などで活用していきます。



こちらのQRコードを読み取ると
ポスター・パンフレット情報を確認できます。



保育所で交通安全・防犯イベントを実施

交通事故・あやしい人に気を付けよう

亀岡市立第六保育所と川東保育所にドナルドが来てくれました。

ドナルドから

「みんなは外で歩いている時はどうするかな？」

「信号が黄色になったらどうする？」

「知らない人に声をかけられたらどうする？」と問いかけて、園児自ら楽しく交通安全と防犯について学んでいました。



マクドナルド（(有) 空海コーポレーション）に協力いただきました

亀岡市のセーフコミュニティ活動が表彰されました

第11回協働まちづくり表彰を受賞

5月23日、東京ビッグサイトで開催された自治体総合フェア2019の中で、日本経営協会主催の第11回協働まちづくり表彰が行われ、亀岡市の「日本初の『セーフコミュニティ』による安全・安心なまちづくり」が優秀賞を受賞しました。

これは、公と民が協働・連携して魅力ある地域社会の実現に貢献したプロジェクトを表彰するもので、全国から多数の応募があった中、4つのプロジェクトが表彰されました。

